

LMHOST ファイルはどんなロールを Cisco ICM で行いますか。

目次

[はじめに](#)

[LMHOST ファイルはどんなロールを ICM で行いますか。](#)

[関連情報](#)

概要

LMHOST はその NetBIOS (NetBIOS over IP) 静的ファイル コンピュータの遠隔ネーム・リゾリユーションの支援です。それは NetBIOS (NetBIOS over IP) 名前から IP アドレス マッピングが含まれています。この資料は Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 環境で LMHOST ファイルのロールを記述したものです。

Q. LMHOST ファイルはどんなロールを ICM で行いますか。

A. IP アドレスへの NetBIOS (NetBIOS over IP) LMHOST ファイル マップ名前。Cisco ICM サーバは Microsoft NetBIOS over TCP/IP プロトコルが互いに通信するように要求します。NetBIOS (NetBIOS over IP) セッションは 2 つの名前の間で NetBIOS (NetBIOS over IP) 設定されます。セッション設定は次のフェーズを含みます:

1. Windows Internet Name Service (WINS) サーバを使用する NetBIOS (NetBIOS over IP) ネーム・リゾリユーション、か静的な LMHOST ファイル。

```
NetBIOS name query request -->
```

```
<-- NetBIOS name query response
```

2. TCP 接続は確立されます:

```
SYN -->
```

```
<-- SYN-ACK
```

```
ACK -->
```

3. NetBIOS (NetBIOS over IP) セッションはその接続に設定されます:

```
NetBIOS session setup request -->
```

```
<-- NetBIOS session setup response
```

ほとんどの例では、それは SQL サーバ接続を確立するリモート ドライブのマップのような名前付きパイプ接続です。

LMHOST ファイルはホスト ファイルが IP アドレス マッピング名前に IP が含まれているので、ホスト ファイルと異なっています。ホスト ファイルは IP ルータ、自動着信呼分配装置 (ACD)、音声応答ユニット (VRU)、アプリケーションゲートウェイサーバ、パブリック、公共高優先順位、私用の、および私用高優先順位 アドレスのためのアドレスが含まれています。ドメイン名による Cisco ICM サーバ解決 IP ホスト名は (DNS) サーバか静的ホスト ファイルを保守します `gethostbyname` Application Program Interface (API) によって従って右のアドレス (インターフェイス) に権限 TCP/IP ソケット ポートをバインドできサーバが適切なインターフェイスの正しいアドレスを通して他のホストに接続するようにします。

ホスト名・リゾリューションは DNS サーバがすることをと同等です。Cisco ICM サーバによって使用されるすべての IP アドレスが含まれに接続する他のすべて。LMHOST 名・リゾリューションは WINS サーバがすることをと同等です。各 ICM サーバのパブリックアドレスと関連付けられるこれらのアドレスだけ含まれています。たとえば、[ネットワーク コンピュータ] -- [ネットワーク コンピュータ]に現われるアドレス LMHOST ファイルにおよびサーバだけあります。

次に、例を示します。CallRouterA は私用および私用高優先順位 アドレス上の CallRouterB と通信します。MDS プロセスが開始するとき、自身のソケットのために使用するよう **gethostbyname** ルックアップおよびアドレスを要求するようにプライベート ネットワークのピアサーバの IP アドレスを実行します。CallRouters バインドの CCAgent プロセスはこれらのルータに目に見えるのへのソケット、およびビジブル高優先順位アドレス、従って Peripheral Gateway PGAgent プロセス接続されることが出来ます。CCAgent はポートをにかバインドするなどのアドレス認識するために **gethostbyname** ルックアップを行います。PGAgent はまた CallRouter の目に見えるのおよびビジブル高優先順位アドレスに接続する方法を知るためにホスト ファイル ルックアップを行います。

純使用 コマンドを PG から CallRouter に実行するとき、それが実行する LMHOST ルックアップは、CallRouter ホスト名と関連付けられる 1 アドレスだけが含まれ。

ICM はホストおよび LMHOST ファイルを DNS および WINS サーバに代替として使用します。ICM サーバがの代りにアドレスの Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) /DHCPv6 設定される スタティックを (DHCP) 使用するので、ホストのメンテナンスおよび LMHOST ファイルは管理してが比較的簡単です。ホストおよび LMHOST の使用は機能 DNS または WINS サーバの要件を省きます。ICM サーバは WINS または DNS サーバが利用でき、機能であるというファクトに頼りません。多くの時 ICM サーバは別途のドメインにあり、他のカスタマサーバからの別々のデータ ネットワークに物理的に (または論理的に) あります。

ホストおよび LMHOST ファイルは両方各 ICM サーバに `\winnt\system32\drivers\etc` ディレクトリにあります。

ロガー サーバのホストおよび LMHOST ファイルだけを修正することを推奨します。ロガー サーバが Primary Domain Controller (PDC であるので) およびすべてのシステムはそれに接続します、利用可能常にであるはずで。マスター ホストおよび LMHOST ファイルをこれ中央に管理され、制御された場所で保存し、すべての ICM サーバに変更されたホストおよび LMHOST ファイルを伝搬させるのに [sendall.bat](#) を使用して下さい。

関連情報

- [Sendall.bat コマンドを使用して ICM ノード ホスト ファイルをアップデートする方法](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)